

# 3年学年通信



2016年7月20日

尾張旭市立東中学校  
3年主任 福田 米造  
東中学校ウェブサイトもご覧ください。  
<http://www.owariasahi.jp/higashi-j/>

いよいよ夏休み!! この夏休みに飛躍しよう! 「キライ、ニガテ」を「好き」に!

## 《夏休みを迎えるにあたって》

さあ、いよいよ夏休み。受験生にとって「夏休みが勝負」という言葉がよく聞かれます。「夏休みを計画的に過ごせば、2学期に大きく伸びる」と言われます。

考え方を変えれば、夏休みは自分を変えるチャンスでもあります。「チャンスだ!」と思えばやる気も出てきます。「何かしなくちゃ、チャンスを生かさなきゃ!」という気持ちになってきます。まだ「夏休み、どうしよう?」と思っている人、ぜひこのチャンスを生かしてください。

「けれど、じゃあ、どうすれば勉強できるようになるの? まず何をすればいいの?」という質問が聞こえてきます。

そこで、その質問に答えるために苦手教科を克服した先輩を例に考えてみたいと思います。その先輩の夏休みの勉強の秘けつは、一つは「気持ちの持ちよう」で、もう一つは「勉強のやり方」です。

それまでは、数学は「ニガテ」「キライ」「やりたくない」の三拍子。苦手でも、「頑張ってなんとかするぞ!」と強く思うことが大事。それを強く思わないと嫌だから取り組まなくなってしまう。

実際にやった勉強は「1冊の問題集を決めてそれにかける。毎日1時間は数学の問題集をやる!と決めて実行した」

それで一気に苦手教科を克服したわけです。

また「受験勉強の時は、好きなことができない」「受験勉強は苦しいもの。たいへんなもの。ガマンしてやるもの」というイメージがあるようです。

しかしこういう意見もあります。

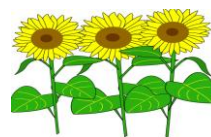
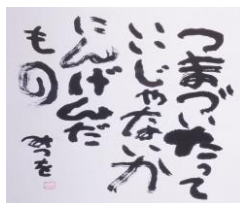
「受験勉強は目標をはっきりしているので張りあいがあった」「問題が解けるようになる。点数が上がったりするのがうれしくて、積極的にやれた」「自分で勉強をやって、授業中にわからなかったことがわかるようになったことがけっこうあった」

「受験勉強は苦しいもの。」というのは実は、「どうせだめ、苦手だからやってもムダ」という気持ちがあるからだと思います。「キライ、苦手」が「好き」となるには、やはり自分が自信をもつことが大切だと思います。「前よりわかるようになってきた」「できるようになってきた。点数もとれるようになってきた」という進歩の実感が自信を生んで、さらなるやる気のもとになるのです。そうなれば、受験勉強も自分を成長させるチャンスになるのだと思います。

## 《保護者のみなさまへ》

「ついに我が子も中学3年生になった」「今年は我が家もたいへんだわ」と思う方も多いでしょう。けれども、子どもの成長を実感できる年と考えることもできます。何より「大人になっていく自分の子ども」を発見する、親としても感激できる年のはずです。急激に大人に近づいていく、たくましくなっていく子どもたちを間近に見るのは、大人の我々にとってうれしいことです。

この夏休みは、ご家庭でも、大人としての意見・経験など、「生き方」を子どもたちに伝えるまたとないチャンスだと思うのです。そんなカッコイイ言葉で言わなくても、子どもたちは自分の親や他の大人が「今までどう生きてきたか」ということにとっても興味をもっていますから、ぜひ話してみてください。



### 《出校日》

8月1日(月) 8:35 ST

持ち物 スリッパ, 筆記用具, 課題

8月18日(木) 8:35 ST

持ち物 スリッパ, 筆記用具, 課題

\*引取訓練を行います但保護者の来校は必要ありません。

### 《始業式》

9月1日(木) 8:35 ST

持ち物 スリッパ, 体育館シューズ  
筆記用具, 課題

